市の方針｜現行

共生・共育・共働

将来像「誰もが輝く未来へ 共に創る石岡市」の実現に向けた、第2期基本計画の市の方針

現行の考え方

本市の将来像「誰もが輝く未来へ 共に創る石岡市」の実現に向け、第2期基本計画では「共生・共育・共働」を市の方針として掲げ、各分野の施策を推進しています。

「共生」は安全・安心な暮らしと多様性を認め合う地域社会、「共育」は子育て・教育・保健・医療・福祉の充実、「共働」は産業振興と多様な主体による協働のまちづくりを基本的な考え方としています。

共生（共に生きる）

自然災害や火災、交通事故や犯罪等から市民の生命・身体・財産を守り、安全・安心に暮らせる社会を目指します。都市部・田園空間それぞれの特性を活かした都市基盤や環境の整備を進め、多様な価値観を認め合い、一人ひとりが活躍できる地域社会を構築します。

共育（共に育つ）

結婚への支援や安心して子どもを産み育てられる環境整備、石岡ならではの学校教育、生涯学習を推進します。さらに、保健・医療・福祉の充実などを通じ、全ての市民が健康で安心した生活を営むことができる社会を構築します。

共働（共に働く）

豊かな自然や立地条件を活かした産業振興を進め、誰もがいきいきと働き続けられるまちを目指します。地域資源・観光資源の魅力発信を強化し、市民・地域・行政など多様な主体が役割を分担しながら協働する社会を構築します。

※現行第2期基本計画の市の方針を要約して掲載

今を見て、未来を創る

改定後の考え方（案）

本市を取り巻く厳しい財政状況や社会経済情勢を踏まえ、現在の課題を的確に捉えながら、将来にわたり持続可能な市政運営を進めます。

8つの柱を軸に、市民生活を守り、将来にわたり持続可能な石岡市を創ります。

本市を取り巻く厳しい財政状況や社会経済情勢を踏まえ、現在の課題を的確に捉えながら、将来にわたり持続可能な市政運営を進めます。8つの柱を軸に、市民生活を守り、将来にわたり持続可能な石岡市を創ります。

1 **財政運営・財源確保の立て直し**

無駄・非効率・不要不急の予算執行を見直し、持続可能な行財政運営と新たな財源確保を進めます。

2 **都市計画・建設政策・道路整備の立て直し**

道路・上下水道等の整備計画と維持管理を再点検し、暮らしを支える都市基盤を整えます。

3 **消防・防災・防犯・災害対策の強化**

自然災害や犯罪等から市民の生命と財産を守るため、消防・防災・防犯・災害対策を強化します。

4 **福祉・医療・子育て・出産・子どもたちの政策の立て直し**

安心して子どもたちを産み育てられる環境と、医療・健康・福祉の基盤を充実します。

5 **高齢者・介護・障がい者福祉政策の推進**

年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが地域で安心して暮らし続けられる環境を整えます。

6 **農業・森林政策の立て直し**

本市の基幹産業である農業と森林資源の可能性を活かし、持続的な発展と所得向上につなげます。

7 **商工業・観光・おまつり政策の立て直し**

創業支援・企業誘致、観光・おまつり等を通じ、雇用・交流・地域経済の活性化を進めます。

8 **教育・文化政策の立て直し**

子どもの未来を育む教育環境を整え、歴史・文化の継承とスポーツを通じた人づくりを進めます。

基本構想の将来像・基本理念・9つの政策目標は維持し、今回の改定内容を既存の体系につなげます。

基本構想の分野ごとに重点的に施策展開

各分野の施策展開をリードする事業を「リーディングプロジェクト」として位置づけています。

現行の位置づけ

総合計画をより実効性の高いものとするため、第2期基本計画の計画期間において、各分野の施策展開をリードする事業を「リーディングプロジェクト」として位置づけています。

現行計画では、4つの「輝く」分野と全体を下支えする「チャレンジする市役所」に対応するプロジェクトに加え、本市の喫緊の課題である人口減少への対応を重点的に進めています。

人口減少対策プロジェクト　出生率の向上・転出抑制・転入促進・関係人口の拡大

輝く「魅力向上」プロジェクト	歴史・観光などの地域資源を活かし、市の魅力を市内外へ発信
輝く「まち」プロジェクト	安全・安心の確保と、都市基盤・生活環境の向上
輝く「ひと」プロジェクト	健康・福祉、子育て・教育・学びなど、生涯にわたる暮らしを支援
輝く「暮らし」プロジェクト	産業振興と地域・文化を通じ、持続可能で豊かな暮らしを実現
チャレンジする市役所	社会情勢の変化に柔軟に対応し、全分野を下支えする行政運営

※現行第2期基本計画の市の方針を要約して掲載

8つの重点戦略を、基本構想の分野につなげて推進

市の方針「今を見て、未来を創る」を具体化するため、8つの柱をリーディングプロジェクトとして再編します。

改定後の位置づけ（案）

市の方針「今を見て、未来を創る」を具体化するため、市長が掲げる8つの柱を基に、重点的かつ分野横断的に取り組む8つのリーディングプロジェクトを設定します。

8つのプロジェクトを新たな別体系として置くのではなく、それぞれを基本構想の4つの「輝く」分野及び「チャレンジする市役所」に関連付け、現行の政策体系とのつながりを明確にします。また、人口戦略は8つすべてに関わる横断的なテーマとして位置づけます。

1 未来を支える 財政基盤強化

健全で持続可能な行財政運営の確立

2 未来をつなぐ 都市基盤整備

暮らしを支える都市基盤の充実

3 未来を守る 安全・安心

災害に強く安心して暮らせるまち

4 未来を育む 子ども・子育て

子どもの笑顔があふれる地域の実現

5 未来に寄り添う 地域福祉

誰もが安心して暮らせる地域社会

6 未来を実らせる 農林業振興

豊かな自然と農林業の持続的な発展

7 未来を拓く 商工業・観光活性化

にぎわいと交流で活力あるまち

8 未来を彩る 教育・文化・スポーツ

学びと文化で豊かな人を育む

横断テーマ　未来を描く　人口戦略

8つの重点戦略を横断し、人口減少対策として、転出抑制、転入促進、関係・交流人口の拡大を図る

基本構想とのつながり

- 輝く「魅力向上」プロジェクト
- 輝く「まち」プロジェクト
- 輝く「ひと」プロジェクト
- 輝く「暮らし」プロジェクト
- チャレンジする市役所（行財政改革大綱）

※各重点戦略は、主に紐づく政策目標を明示しながら、必要に応じて複数分野を横断して施策を展開します。